

とちぎ夢大地応援団活動報告（11月22日実施）

茂木町 河又地区「遊歩道の整備」

当地域における応援団活動は、前年は台風でやむを得ず中止にしたものの、今年で7回目を迎えることとなりました。

当日は、快晴でボランティア活動に参加された、夢大地応援団7名を始め、県立宇都宮白楊高生徒等4名、NPO法人栃木県環境カウンセラー協会会員5名、地元等関係者9名の総勢37名で、農村レストラン「虹色の里あじ彩」に隣接する遊歩道の整備を実施しました。

この施設は地域住民で構成する「虹色の里あじ彩協議会」が運営し、地域の活性化に貢献している中で、保育園の園児達との農業体験等での交流が毎年行われるなど、教育的な面からも役立っています。このため、園児達が里山を安全で快適に体験できるよう、遊歩道の環境整備と間伐した丸太を使って勾配の急な斜面に新たに階段を設けることや用水堀を渡る橋を架ける作業を行いました。

作業終了後の昼食は、農村レストランの女性達が調理した、おにぎりや地元産野菜たっぷりのすいとん入りけんちん汁等を美味しくいただきながら、参加者同士が和やかに歓談していました。

午後は、自由参加のお正月用のしめ縄づくりの体験も行われ、参加者の中には慣れない手つきでわら縄を作る技術の習得に苦心している様子が伺えました。



「虹色の里あじさい」前で関係者全員の記念撮影



地元代表 河又さん歓迎のあいさつ



ボランティアに参加した宇都宮白楊高生徒



遊歩道の整備作業



遊歩道の階段づくり作業



園児達が安全に通れる完成した階段



用水堀を渡る橋用の丸太を運ぶ



橋を架ける作業



完成した丸太の橋



美味しい食事をいただきながらの歓談



しめ縄づくりの体験